

11月3日

科学の祭典で「樹木クイズと草木染め」

釧路市こども遊学館では、子ども達に科学のおもしろさを知ってもらうため、毎年文化の日に「サイエンス屋台村（青少年のための科学の祭典釧路大会）」を開催しています。

第10回を迎えた今年は、教員、中学・高校の科学部の生徒、大学の研究室、企業、NPO等が科学に関する28の様々なブースを出展。当センターでは樹木のタネの標本を展示し、樹木のタネが遠くに運ばれる様子を考えるクイズと樹木の煮汁でハンカチを染めるブースを出展しました。

樹木のタネのクイズでは、兄弟3人が力を合わせて考えるなど、親子の微笑ましい光景がみられました。草木染めでは、樹木（イチイ・ハンノキ・キハダ）の幹等を煮た茶色い煮汁で白い綿のハンカチを染めてもらいました。樹種によってピンク色に染まったり、黄色やベージュに染まるのを体験して驚いていました。また、ヤマブドウの絞り汁が参加者には好評で、紫に色づいたハンカチを大事に握りしめていました。

草木染めは、他の科学ブースと違って自分で簡単に染め物を作れることから好評で、閉会まで親子の姿が続きました。

（自然再生指導官 國井）



樹種ごとの染まり具合（左からイチイ、ハンノキ、キハダ、ヤマブドウ）



樹木クイズ



草木染めの様子



草木染めの様子